

議題（4）

最終年度であることを踏まえた今後の進め方

1. これまでの経緯と今後の予定

H27年度	H27.9 「平成27年9月関東・東北豪雨」により、利根川水系鬼怒川左岸21.0km付近（茨城県常総市三坂地先）にて破堤	
	H27.12 「水防災意識社会再構築ビジョン」策定	
H28年度	H28.5 烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会設立	H28.5.17 第1回協議会
	H28.8 平成28年台風第10号等による大雨・暴風	H28.8.23 第1回幹事会
		H28.9.7 第2回協議会
H29年度	H29.6 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画	H29.5.24 第2回幹事会
	H29.6 水防法改正 施行	H29.6.22 第3回協議会
H30年度	H30.7 平成30年7月豪雨	H30.4.25 第3回幹事会
	H31.1 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の改訂	H30.5.31 第4回協議会
		H30.11.20 第4回幹事会
		H31.2.18 第5回幹事会
		H31.4.26 第6回幹事会
H31年度 R1年度	R1.10 令和元年東日本台風（台風第19号）による大雨、暴風	R1.7.11 第5回協議会
	R2.2.15 R1年度 取組項目実施状況様式、別紙1、2、3提出（主体機関）	R2.2.7 第7回幹事会
	各取組の進捗状況を確認のうえ、「最終年度であることを踏まえたR2年度取組方針検討」を進める（主体機関）	ポイントは次ページ参照
R2年度	R2.5~6 幹事会、協議会にて情報共有	R2.5.15 第8回幹事会
	R2.10.31 完了・継続・未了を整理した取組項目実施状況様式、別紙1、2、3提出（主体機関） ・集約、目標達成度評価（事務局）	R2.6 第6回協議会
	R3.1（予定）幹事会取組の進捗及び目標達成度、課題の提示（事務局）	
	R3以降の取組方針検討（主体機関）・・・いつまでに何をするか	
R3年度	R3.4 幹事会、協議会にて目標達成度共有及び今後の取組方針改定	

概ね5年以内で実施する取組の実施

規約改定→法定協議会化

2. 最終年度であることを踏まえたR2年度取組方針検討について

①ポイント

- 一連の台風被害を踏まえた**新たな施策（取組）の追加**が想定される
- 既存取組の進捗を踏まえ、**R2年度までに完了させる項目**と、**R3年度以降の取組方針へ反映させる項目**との**切り分け**が必要

②事務局からの提供情報

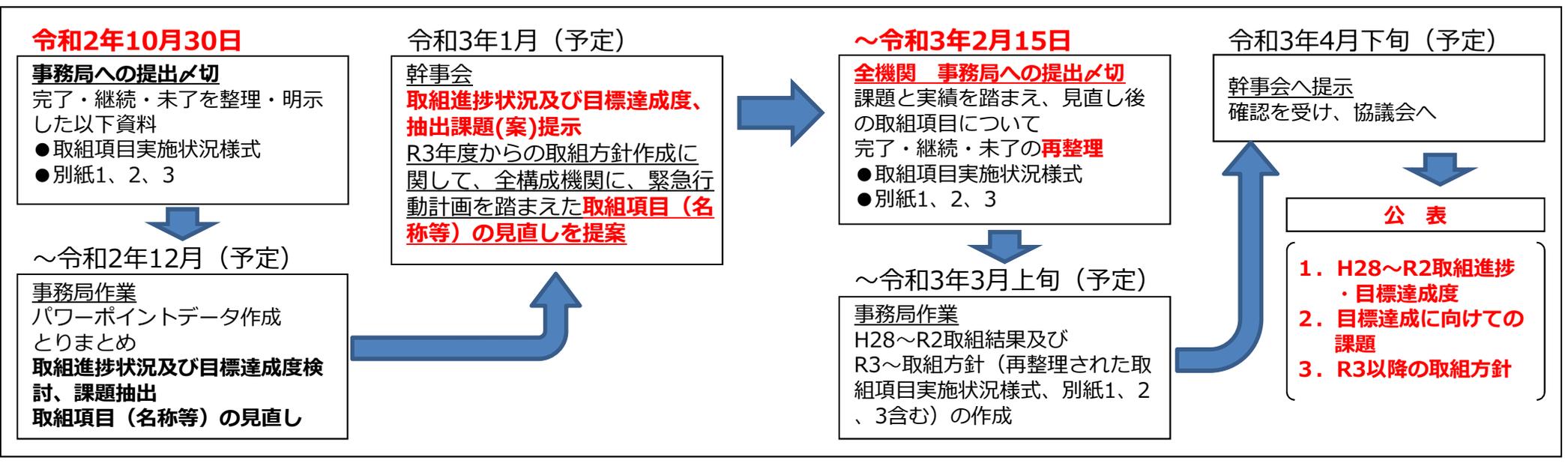
- 洪水浸水想定区域内の住民を対象とした「住民意識アンケート」調査
- 提供頂く情報を元に作成する**取組進捗状況**（レーダーチャート）等・・・第6回協議会資料「資料4」参照

③協議会構成委員から提供頂きたい情報

- 完了・継続・未了を整理・明示**した**取組項目実施状況様式および別紙1、2、3**
- 11月以降年度内に完了する予定のものは見込みで作成
- 提出〆切 令和2年10月30日（厳守）**→事務局作業→幹事会開催→2回目提出期限；令和3年2月15日迄

3. お願い

最終年度のとりまとめと公表に向けて、以下の通り進めていきたいので、確認頂くとともに、資料の提出や次期取組方針に向けての検討について、ご理解・ご協力をお願いいたします。



４．アンケートの実施について

実施目的：平成30年度に実施した「水防災に関する住民意識アンケート」と同様の調査を行い、洪水浸水想定区域内に居住する流域住民の防災に関する意識の変化を把握する。また、併せて令和元年台風第19号発生時の避難行動についてのアンケートも実施し、今後の取組に生かしていくべき課題についても把握する。

実施対象：烏・神流川

対象自治体：群馬県（高崎市、藤岡市、玉村町）、埼玉県（神川町、上里町）

【烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の構成自治体】

対象自治体の浸水想定区域内人口：約60,000人（想定最大規模の浸水時／データ出典：国勢調査H27（群馬県・埼玉県））

統計上アンケート調査必要人数：約400人（信頼度95%、誤差率5%）

実施方法：郵送調査

- ・日本郵便の配達地域指定郵便により**洪水浸水想定区域内の町丁目**に限定して配布
- ・回収率20%～25%を見込み、アンケート配布数は2100通を予定（表1）
- ・回収は郵送にて実施。アンケートにはQRコードも付け、オンラインでの回答も可

実施予定時期：

2020年7月下旬～8月上旬(予定)

表1 アンケートの配布割り振り数

	高崎市	藤岡市	玉村町	神川町	上里町	合計
アンケート必要数※	160	120	30	20	100	430
送付数	800	600	200	100	400	2100
想定回収数	160	120	50	25	100	455
想定返送率	20.0%	20.0%	25.0%	25.0%	25.0%	—

※アンケート必要数は統計上の必要数約400人を浸水区域内の人口比率で按分し、10人単位で切り上げて算出

